

# 青島小6年生が、思い出の詰まった場所の土を使った陶器づくりに挑戦！ ～陶芸家・前田直紀さん指導のもと、卒業制作で世界に一つの器を作りました～

## 「思い出の土プロジェクト」

陶土に思い出の土を練り込んだ、世界に一つだけの器づくり体験です。土の練り込みや成型などに、小学校の校庭などの思い出の「土」を用い、「おもいで」を「カタチ」にします。



1月12日、青島小学校の6年生185人が、藤枝市出身で、世界で活躍する陶芸家・前田直紀さん指導のもと、卒業制作として陶器づくりに挑戦しました。

材料の土には、6年間を過ごした小学校の「思い出の土」を練り込みます。児童は、それぞれの思い出が詰まった場所の土を採集し、小学校6年間の思い出を語りながら、世界にただ一つの器をつくりました。

練り込んだ「思い出の土」は、焼き上げて完成した後の陶器表面にも現れ、児童は器を使うたびに、小学校での生活を思い出すことができます。参加した児童の一人は、「運動会で1位を獲ったことが思い出に残っているのでグラウンドの土を混ぜて作った。焼き上がって完成するのが楽しみ。」と笑顔を見せてくれました。

